



ホッピーだより No.403

2018年6月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

Tel 0145-45-3141

ホームページ <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>ブログ <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/1086.htm>

2017年度の寄贈資料 伊豆倉正隆氏（札幌市）コレクション



シャーパーイセラス（むかわ町穂別産）



ハイポツリリテス（むかわ町穂別産）

アルビアン～セノマニアン期アンモナイト
（大夕張産）

むかわ町穂別や北海道のアンモナイトを研究する上で、極めて重要な資料を一括受け入れしました。寄贈者の伊豆倉正隆氏は、これまでも当館に多くの貴重なアンモナイト資料を寄贈していただいた方です（ホッピーだより No. 311、341、354、384 などで紹介）。手持ちのすべての化石を穂別博物館に寄贈して、活用して欲しいとの希望に沿って、2017年には、クリーニング済みの150点のアンモナイトなどを寄贈していただきました。

寄贈していただいた資料の中には、むかわ町穂別で見つかっていなかった白亜紀アルビアン期のアンモナイト群、当館でほとんど収集されてこなかったシャーパーイセラスやハイポツリリテスなどのセノマニアン期前期のアンモナイト群など、調査・研究を大きく進展させる資料が含まれています。

今回受け入れた穂別産を含めた北海道アンモナイト（150点）には、30種を超える当館未収蔵アンモナイトが含まれていて（これまでに当館に収蔵・登録されていたアンモナイトは約100種、750点）、これらにはアンモナイトの希少種が多い点でも重要な資料群といえます。また保存状態の良いものや、50cmを超える大型資料が複数あるので、展示する上でも適しています。こうしたことから、これらは北海道産アンモナイトコレクションとしてトップレベルの資料群と言えます。

学芸員 西村智弘



セノマニアン期アンモナイト（幌加内産）



カンパニアン期アンモナイト（遠別産）

今回寄贈された資料などは、7月20日～の寄贈資料展（仮称）で展示します。

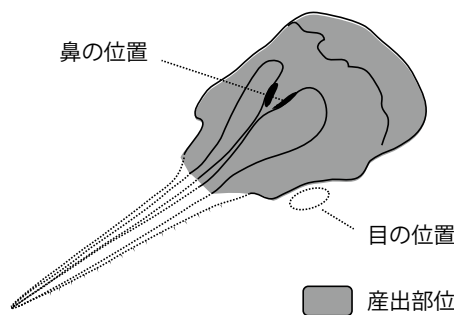
むかわ町天然記念物紹介

ケントリオドン・ホベツ

（むかわ町文化財第10号）



ケントリオドン化石



1987年に地徳力学芸員によって発見されたイルカ（小型のハクジラ）の頭骨の化石です。

1994年に新種として発表されました*。

新生代の鮮新世後期から中新世中期（約2,800万年前～1,100万年前）にかけて世界中で生息していたケントリオドン科イルカの1種です。日本産の種類で新種とされたのは、この種類のみである点で重要な化石です。頭骨の癒合の程度から、未成熟の比較的若い個体で、全長は約2mと推測されています。

* 発表論文：Hiroto Ichishima, 1994. A new fossil keitriodontis dolphin (Cetacea; Kentriodontidae) from the Middle Miocene Takinoue Formation, Hokkaido, Japan. *Island Arc*, vol.3, pp. 473-485.

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300円	100円
団体 (10名様以上)	200円	50円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2018年6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2018年7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日 ○町民無料観覧日
7/17(道みんの日)：北海道民観覧無料

